

「身体のイメージが持つ政治性」をテーマにした現代美術のグループ展 BODY/PLAY/POLITICS 展

2016 年 10 月 1 日 (土) — 12 月 14 日 (水)



インカ・ショニバレ・ムベ 《さようなら、過ぎ去った日々よ》 2011 年
 Yinka Shonibare MBE, *Addio del Passato*, 2011
 Courtesy of James Cohan Gallery and the Artist



アピチャッポン・ウィーラセタクン 《Fever Room》 2015 年
 Asia Culture Center 光州・韓国での公演風景 (参考画像)
 FEVER ROOM, a Projection Performance by Apichatpong Weerasethakul,
 Courtesy of Kick the Machine Films

横浜美術館は、2016 年度 3 本目の企画展として「BODY/PLAY/POLITICS」展 (2016 年 10 月 1 日 [土] ~ 12 月 14 日 [水]) を開催します。

本展は、日本および海外での 2000 年以降の映像・写真・インスタレーションなどにおいて、「演じること」と「ドキュメンタリー」の中間、あるいは、現実とフィクションの狭間、実体あるものと幽霊的なものとの間など、何らかの定義づけの中間状態に置かれた象徴的身体を扱った作品を紹介します。身体が作り出す記号的意味が、いかに変容するものであり、揺らぎのある状態にあるものか、という観点から、作品を通じて身体的なイメージが表す政治性について読み解く試みです。

同展は、インカ・ショニバレ・ムベ (イギリス)、アピチャッポン・ウィーラセタクン (タイ)、石川竜一など 6 作家 (予定) による、映像インスタレーション、写真、彫刻・立体作品などの美術作品に加えて、会期中に開催されるパフォーマンス作品も合わせ、構成されます。また、出品作家の一人、田村友一郎は、横浜にちなんだ新作を本展にて制作・発表予定です。

会 期	2016 年 10 月 1 日 (土) - 12 月 14 日 (水)	主 催	横浜美術館 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]
開館時間	10:00~18:00 (入館は 17:30 まで) ※10月28日(金)は 20:30 まで (入館は 20:00 まで)		
休 館 日	木曜日 (ただし 11 月 3 日は無料開館)、11 月 4 日 (金)	助 成	日本芸術文化振興会
観 覧 料	一般 1,500 (1,300 / 1,400) 円 大学・高校生 1,000 (800 / 900) 円 中学生 600 (400 / 500) 円、小学生以下無料 65 歳以上 1,400 円 ※11月3日(木・祝) は観覧無料 ※ () 内は前売、および有料 20 名以上の団体料金 (要事前予約)	特別協賛	寺田倉庫
		協 力	横浜高速鉄道株式会社、横浜ケーブルビジョン、 FMヨコハマ、首都高速道路株式会社
		お問合せ	045-221-0300
		U R L	http://yokohama.art.museum/

※この機会に本展を、広くご報道いただければ幸いです。

お問合せ先 *本日は 17 時まで在席しております。			
横浜美術館 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】			
経営管理グループ	広報・渉外チーム	担当グループ長	西澤
Tel			045-221-0368
経営管理グループ	広報・渉外チーム	広報担当	宮野、藤井、長濱
Tel			045-221-0319